



令和4年6月24日 宇和島市立立間小学校

待ったなし！防災・減災教育の推進

校長 坂本 新一郎

小規模な地震が1年以上頻発していた石川県珠洲市で19日午後、**震度6弱**の地震が発生しました。その後も余震が続いており、強い揺れによって緩んだ地盤が梅雨時期の雨によって土砂災害を発生させる危険性を高めています。私たちの住む地域も、近い将来発生が予想される南海トラフ地震に対する備えを、今のうちから始めておかなければなりません。

立間小学校では「自分の命は自分で守る」児童育成のため、防災・減災教育に取り組んでいきます。手始めとして、学校周辺の「**防災マップ**」作りを行います。「防災さんぽ」(防災・減災施設の確認、危険個所の発見、地域住民からの聞き取り調査等)を通して、子どもたちの目を見た立間地域の実態を「防災マップ」にまとめていきます。学校での取組が地域の防災力の向上にもつながるよう、地域と連携した活動を計画・発信していきます。是非とも、立間小学校の取組への御協力をお願いいたします。

一人一台端末(ipad)の利用について

1年生がipadを使い始めました。今回は、ICT支援員さんに使い方を教えていただきました。学校では、授業でipadを使って様々な活動をしています。またドリル学習では、自分のペースに合った学習も進めています。今年度から、3年生以上でCBT方式(コンピュータを使った)テストが実施されるようになるなど、コンピュータがなくてはならない文房具的な存在になっています。



校区別人権・同和教育懇談会(6月12日)

人権・同和教育懇談会を行いました。前半は、人権・同和教育に視点を当てた公開授業。友達や仲間をテーマに真剣に考えたり、話し合ったりしました。後半は、3年ぶりの講演会。講師は、三間町出身、国際地雷処理・地域復興支援の会理事長の高山良二さんです。地雷撤去活動や地域復興についての話や日本人としての在り方や生き方など、様々な話を聞かせていただきました。

防災マップづくり講演会(6月16日)

愛南町から講師を招いて「防災マップづくり講演会」をしました。「立間地区に起こりうる自然災害を基に、防災マップづくりを行い、自分の命は自分で守る力を身に付けてほしい。」と言われていたのが印象的でした。

これから、「防災さんぽ」を行い、見たことや感じたことを書き込み、防災マップを作成していきます。なお詳細については、後日、学校のホームページでお知らせしたいと思います。御協力をお願いいたします。



学校での教育活動の様子をお知らせしています。ぜひ、御覧ください！

立間小学校ホームページ

<https://tachima-e.esnet.ed.jp/>